

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市蓑沢地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

高齢者が生活するために、バリアの多い第6地区では、積極的にアウトリーチ活動を行いどこにお住まいの方でも、適切にサービスを提供できる地域ケアプラザを基本的な考え方としてサービスを提供してまいりました。また、地域住民の方々が安心して日々の生活が送れるよう、地域の関係団体と協働して、地域全体の福祉を支える町づくりを支援しました。今年度は特に、第3期地域福祉保健計画策定のため、地域住民と協働し、エリアの実態に即した具体的な内容の計画策定のための支援をしました。

また、地域ケアプラザでの自主事業を実施するなかで、地域活動の次世代を担う人材の育成を行い活動の継続および活性化を支援しました。

また、地域ケアプラザが主催し、福祉保健の講座開催や障害当事者の活動参加の橋渡しを行い、誰もが地域の活動に参加できる、顔の見える関係づくりを目指しました。地域交流部門では、今年度は中区地域福祉保健計画の一環として、イベントカレンダーの配布協力や、各種事業等滞りなく実施しました。特記事項として、以下の3点があげられます。①子育てサロン参加者のサークル立ち上げに相談援助を行い、防災講座の実施や、円滑なサークル活動のため継続的に関わりました。子育て世代を対象に、神奈川県栄養士会と共催で「食」に関する講座を実施しました。②障害児余暇活動支援事業は小学生、中学生を対象に、夏期・冬季実施しました。③町内会未加入世帯の課題に対し、自主事業参加者に加入を呼びかけ、加入までの橋渡しを行いました。また、地域からの問い合わせの際、連合町内会や、自治会に連絡をとり、加入に繋がるように対応しました。

地域包括支援センターでは、「積極的に地域に出向く包括」を基本姿勢として活動を行いました。民生委員や地域住民の方へ介護保険制度の勉強会などを実施し、地域包括支援センターの業務の紹介や相談窓口としてのPRに努めました。地域に多くの認知症を抱える家族がいることから支援の必要性を見出し、介護者の集いを開催。区との連携も視野に入れ、介護者の支援体制の整備につとめました。地域支援チーム会議において、地域課題の分析結果を関係機関と共有しました。また、サロン等現存する集いの場の周知を地域に行い、活性化を図りました。

通所介護（デイサービス）事業では、当プラザの設置場所が高台にあり、かつ鉄道の便の悪さもあって、パートの介護スタッフの確保が非常に難しいため、正規採用職員を加配して対応しました。個別レクリエーションの実施、介護度の高い利用者の受け入れ、リハビリテーションの導入等により、年間延べ利用者数が平成26年度の7,870人から平成27年度は10,294人と大幅に増加しました。また、パートスタッフ確保は、地域の役員の方の協力もあり、デイサービスのドライバー等、ごく近隣の方に支えて頂ける環境がかなり整って参りました。

居宅介護支援事業では、利用者数の多少の減少は見られるものの、ほぼケアマネジャーが持てる上限枠いっぱいの利用者数を維持できました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- (1) 施設全体の維持管理を専門の管理業者に委託し、定期的に保守管理を行いました。
- (2) 備品については、棚卸しによる備品内容の確認および、管理簿の改定を実施。不具合に対する対処等、適切な管理に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- (1) 職員全体が施設の運営状況を把握しコスト意識の向上を図るため、必要に応じ、職員会議で予算の執行状況報告を実施しました。
- (2) デイサービスの送迎車両でのアイドリングストップの奨励を実施。コスト削減と共に環境負荷の低減を図りました。

ウ 苦情受付体制について

- (1) 身近な相談窓口として、総合相談窓口（社会福祉士）を配置し、相談の受付を行いました。
- (2) 外部苦情受付機関として、「ご意見ダイヤル」「かながわ福祉サービス適正化委員会」について掲示による広報を行いました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (1) 開館・日中・閉館時に施設内の点検を実施、また夜間の安全管理は、委託業者による遠隔管理を行いました。
- (2) 避難訓練を年2回実施。平常時から、安全管理の意識向上、避難経路の確認等安全管理を行いました。
 - ① 防犯
施設周囲に不審物が無いか確認し、ゴミ等の清掃を適宜行いました。
管轄の警察署（山手警察）に連絡をとり、防犯の指導、助言をあおぎました。
施設の施錠時に最終確認のチェックを徹底し、安全確認を行いました。
 - ② 防災
定められた定期の避難訓練を防災マニュアルに基づき実施し、利用者にも参加していただきました。

オ 事故防止への取組について

- (1) ヒヤリハット事例、事故事例についての検討および対応策を実施し、事故防止および再発防止に努めました。
- (2) スタッフが日に3回巡回し点検を行います。スタッフ全員で危険個所の情報を共有を行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- (1) 個人情報の取り扱いについて、全職員に対し、研修を実施。また、全職員へのチェックリストの実施により注意喚起を行いました。
- (2) 個人情報漏洩事故防止のため、FAX送信時のダブルチェックをはじめ、デイサービスでは、連絡ノート、送迎配車表の管理、包括支援センターでは、持ち出しチェック表での管理等を実施しました。

キ 情報公開への取組について

- (1) 広報誌「瓦版」を年4回発行。事業案内は毎月発行、町内会掲示板をはじめ、マンションへの持ち込みなど、エリア内の多くの方に情報が伝わるように努めました。
- (2) 箕沢地域ケアプラザのホームページによる事業案内、イベント案内等プラザ運営情報の公開を行いました。
- (3) 介護サービス情報の公表制度により、介護保険事業の実施状況を公開しました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- (1) 震災による電力逼迫状況に対応し必要以外の照明の消灯、エアコンの設定温度調整等を実施し、節電につとめました。
- (2) 地元小学校と協力してエコキャップ運動に参加しました。
- (3) インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加しました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 常勤 1名

担当職員 常勤 3名（1名は管理者と兼務）

《目標》

公正・中立性に留意して、利用者の自由な選択のもと適切な支援が提供できるようまた、利用者が地域で安心して元気に暮らすことができるように一人ひとりの特性に合った健康維持・機能回復につながるサービスの提供に努めました。

できるだけ自立を目指し、その人らしさを反映した介護予防プランの作成・そのためのモニタリング・評価を適宜実施しました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
83	86	89	84	76	76
10月	11月	12月	1月	2月	3月
74	72	73	74	73	70

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤兼務1名 非常勤専従1名 非常勤兼務1名

《目標》

介護保険法による、公正・中立・利用者本位を原則として、利用者のニーズに沿ったプランの立案を行いました。常に迅速な対応、的確な支援を行うことで利用者とその家族との信頼関係を構築しより良いサービス提供を行うことに努めました。また地域性を視野に入れ、利用者の生活に触れる中で地域の中で利用者一人一人がその人らしい生活を送って頂けるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所としてその役割を念頭に、地域に根ざした対応、支援を行いました。具体的には、地域包括支援センター、地域交流活動事業、通所介護と連携を図り、地域との関わりを持ち、地域の人々とのつながりを大切に支援を行いました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 □	5月	6月	7月	8月	9月
50	50	51	51	52	52
10月	11月	12月	1月	2月	3月
53	54	55	55	56	56

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎、給食、おやつの提供、排泄・入浴介助
- 生活指導、機能訓練、健康状態の把握、介護サービス全般
- 通所介護サービス計画の作成

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

- (要介護1) 698円
- (要介護2) 811円
- (要介護3) 923円
- (要介護4) 1037円
- (要介護5) 1149円

● 食費負担 800円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:45~15:00

《職員体制》

管理者1名 生活相談員3名 看護職員3名
機能訓練指導員 3名 介護職員20名

《目標》

身体機能の維持・向上を目指した活動を積極的に展開し、社会参加への意欲を目標とした個別プログラムや支援サービスを展開しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

デイサービスに参加することにより自発性・積極性を培い、参加することへの楽しみを体感できるよう支援しました。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
698	727	731	782	771	786
10月	11月	12月	1月	2月	3月
799	766	751	682	737	823

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ① 生活指導（相談援助等）
- ② 機能訓練（日常動作訓練）
- ③ 健康状態の確認
- ④ 送迎
- ⑤ 給食
- ⑥ 入浴
- ⑦ 生活機能向上を目的としたグループ活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2,360円
 - （要支援2） 4,621円
- 食費負担 800円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:45 ~ 15:00

《職員体制》 管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 3名
 介護職員 20名 機能訓練指導員 3名

《目標》

身体機能の維持・向上を目指した活動を積極的に展開し、社会参加への意欲を目標とした個別プログラムや支援サービスを展開しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

デイサービスに参加することにより自発性・積極性を培い、参加することへの楽しみを体感できるよう支援しました。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
99	102	106	106	109	112
10月	11月	12月	1月	2月	3月
112	102	106	95	90	102

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定してください。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- ・高齢者の自主活動グループの運営がスムーズに運営できるよう支援しました。
- ・年金支給日に行われる、山手警察の『振り込め詐欺に合わないための啓発』活動であるちらし配布に同行しました。警察官から得た情報を、自主事業や地区社協サロンにて、地域の活動者や高齢者に提供しました。
- ・マタニティヨガの実施後、助産師による相談を行いました。また、マタニティヨガ卒業生から地域の子育て自主グループが立ち上がり、精力的な活動を開始しました。町内会と連携し活動支援をしました。
- ・多問題ケースは関係機関と連携し対応してきました。特に精神疾患がある方の対応は、区 MSW や支援センターと連携しました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・自主事業や、貸し館事業、地域に出向いた際に知り得た情報を所内で共有し、必要な支援をおこないました。
- ・箕沢サロン、地区社協サロン、地域福祉保健計画と協力し取り組みました。

3 職員体制・育成

- ・人員体制については、法人本部、公的、民間の求人情報機関等を活用して体制を維持しました。
- ・法人研修として、3-5年職員 中堅、管理職研修を実施、それぞれに対象職員を派遣。また、全職員非常勤職員を含め、全職員に対し人権研修を実施。
- ・また、職場環境の改善のため、メンタルヘルス研修及び、スーパーバイザー研修を実施。中堅職員の指導力向上をめざしました。
- ・人事考課を実施し、その際、各個人ごとに、時間を作り、現在の進捗状況や取組み、また課題などについてディスカッションを行い、職員個々の目標や課題などについて職員と確認をする場を設けました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・障害児余暇活動支援事業は、全体的な人数は減ったものの中学生の継続参加もあり、年齢層の幅が広がり、成長過程が見られました。
- ・山手警察の振り込め詐欺のちらし配布に同行することで、日頃から連絡のできる関係を維持。通報が入ったケースなども継続して問い合わせがあり、情報交換をおこないました。
- ・子育てサロン開催時、主任児童委員、子育て支援員、地域ボランティアとの情報交換を行い、見守り体制を継続しています。

5 区行政との協働

- ・毎月1度ケアプラザにおいて区、区社協、ケアプラザで地域支援チーム会議をもち、情報の共有をおこないました。
- ・まちなかプロジェクトの事務局として、地区計画を推進できるように取り組みました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・広報誌「瓦版」を定期的に発行し、関係機関への手渡し配布、自治会町内会への回覧依頼、ホームページへ掲載しました。
- ・イベントカレンダーを作成し、全戸配布しました。前年度からさらに掲載団体が増え、更なる充実をはかりました。
- ・ケアプラザまつり、ふれあいまつりでのアンケート収集を行い、第3期地域福祉保健計画に反映させました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・食生活推進委員の協力にて、体操教室八起会で、高齢者の食事について調理実習を含めた講座を行いました。
- ・ケアプラザ祭りに福祉保健活動団体の協力を得ました。高齢化の課題がありましたが、新たな団体が活動に繋がりました。

3 自主企画事業

- ・高齢者、妊婦、子育て世代、障害児を対象とした事業、参加型事業としてケアプラザ祭りを実施しました。
- ・子育てサロン参加者のサークル立ち上げに相談援助を行い、防災講座の実施や、円滑なサークル活動のため継続的に関わりました。
- ・子育て世代を対象に、神奈川県栄養士会と共催で「食」に関する講座を実施しました。
- ・障害児余暇活動支援事業は小学生、中学生を対象に、夏期・冬季実施しました。
- ・町内会未加入世帯の課題に対し、自主事業参加者に加入を呼びかけ、加入までの橋渡しを行いました。また、地域からの問い合わせの際、連合町内会や、自治会に連絡をとり、加入に繋がるように対応しました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・新規に立ち上がった子育てサークルのボランティア活動や、山元小学校とのクラス単位でのデイ交流をコーディネートしました。関わりを継続することで、ケアプラザ祭りや、ふれあいまつり参加に至りました。
- ・中区内ケアプラザ、区社協と共催にてボランティア講座を実施し、事業に繋がりました。
- ・ふれあいまつりに中学生ボランティア、郊外委員が繋がりました。
- ・色えんぴつ絵画教室参加者が、簗沢サロンにボランティアで繋がり、『塗り絵コーナー』を新たに設置することができました。
- ・自主事業参加者より申し出があり、ロビーを定期的に生け花で飾っていただく活動に繋がりました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

・突然の来所、電話や訪問等状況に応じて対象者やご家族のニーズを把握して迅速に対応しました。初回相談に関しては、2人対応とし、包括内の情報の共有に努めました。介護保険情報のみならず、あらゆる相談の窓口として対応しました。

地域包括支援ネットワークの構築

・民生委員や地域住民の方へ介護保険制度の勉強会などを実施し、地域包括支援センターの業務の紹介や相談窓口としてのPRに努めました。

実態把握

・包括3職種で連携を図り、地域住民の方や民生委員、ケアマネジャーからの相談対応に努めました。介護保険だけでなく、市域の相談窓口としての対応に努めました。

2 権利擁護

権利擁護

・成年後見制度に関する講座は開催できませんでしたが、ケアマネジャー等各機関と連携し、後見制度の利用に繋がりました。また、地域住民やケアマネジャーからの個別相談を通じて、後見制度を正しく理解できるよう、制度の周知を図りました。
・山手警察署と共同で振り込め詐欺防止活動を行い、詐欺の手口の紹介や、消費生活センターの周知、警察署への相談の促進を行いました。

高齢者虐待

・民生委員・区・ケアマネジャー等関係機関と連携し、虐待の早期発見に努めました。虐待が疑われるケースについては、行政や他の関係機関と連携し、対象者や家族（虐待者）との面接を行い、迅速な対応を図りました。

認知症

- ・区や区内の包括と協働して、認知症介護者の支援を行いました。
- ・エリア内にて介護者の集いを開催しました。また、個別訪問を通じて、介護者の相談を受け、介護者のサポートを行いました。
- ・エリア内の介護保険施設、キャラバンメイトと共同で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の症状と対応について正しく理解できるよう、普及啓発を行いました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ・地域住民、民生委員、また、行政や医療機関等、関係機関からの相談や情報提供により、対象者の把握に努めました。

介護予防ケアマネジメント力

- ・訪問を主として、対象者や家族と十分にコミュニケーションを取り、状況の把握やニーズの対応に努めました。
- ・また、セルフケアの助言やインフォーマルサービスの紹介も行い、介護予防の必要性について理解を深めました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・地域の事業やサロン等に参加し情報提供や住民支援に努めました。
- ・民生委員との顔の見える関係づくりと連携推進を図り、必要な情報提供に努めました。
- ・チーム会議を通じて、地域課題の抽出結果を共有し、関係機関と連携強化を図りました。

医療・介護の連携推進支援

- ・年3回区主催の医療、介護の検討会に参加、また、複数の医療機関、医師会の検討会にも出席し、他機関との連携を深めました。

ケアマネジャー支援

- ・ 随時個別にケアマネジャーからの相談に対応しました。また、関係機関と連携を図り、困難ケースの支援に努めました。
- ・ 区・区内6包括共催で、新任・就労予定のケアマネジャー実習を実施し、ケアマネジャーのスキルアップを支援しました。
- ・ 居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと交流会を実施し、新任ケアマネジャー実習等協力体制の強化に努めました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・ チーム会議において、地域課題の分析結果を関係機関と共有しました。また、サロン等現存する集いの場の周知を地域に行い、活性化を図りました。

介護予防事業

介護予防事業

- ・ 年6回、ロコモ予防、口腔ケア、栄養等の講座をケアプラザやコミュニティーハウスで開催し、セルフケアや介護予防の重要性について、理解を深めました。また、その後、体操教室等、ケアプラザの事業の参加につなげました。

その他

地域ケア会議 3月16日実施

初回は町内会長、老人会、民生委員等にお声掛けし、近況報告、地域の課題抽出等を実施しました。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：箕沢地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	20,378	24,211	149			814	
	介護保険収入				2,089	9,159	90,364	6,003
	その他							
	サービス区分間繰入金						679	
	拠点区分間繰入金					2,089	1,817	
	寄付金収入						50	
	雑収益	301					41	
	収入合計(A)	20,679	24,211	149	2,089	11,248	93,765	6,003
支出	人件費	11,828	20,675			8,314	56,135	6,003
	事務費	1,819	733	149		590	4,531	
	事業費	1,626	670				8,605	
	管理費	4,727	2,133			78	13,800	
	その他							
	施設使用料相当額						3,990	
	サービス区分間繰支出	679						
拠点区分間繰支出				2,089		3,035		
	支出合計(B)	20,679	24,211	149	2,089	8,982	90,096	6,003
	収支 (A) - (B)	0	0	0	0	2,266	3,669	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成27年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みのさわ子育て 応援団	<p>《目的》地域で安心して楽しく子育てができるように相談援助や情報提供を行いました。</p> <p>《内容》未就学児とその保護者が集える出入り自由なサロン。主任児童委員、子育て支援者が日々の相談を受けました。イベントとして、歯科衛生士による歯科指導、管理栄養士による離乳食デモンストレーション等をおこないました。</p>	毎月第2木曜 (年間12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
八起会	<p>《目的》高齢者の健康維持・転倒骨折予・閉じこもり防止・仲間作りを目的に行いました。</p> <p>《内容》座って行う転倒骨折予防体操。ボールやスポンジボール、セラバンドを使った体操。必要に応じて、生活に関する情報（熱中症予防、詐欺や交通事故等）の提供も行いました。</p>	毎月第2・4火曜 (年間24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
箕沢サロン	<p>《目的》高齢者の閉じこもり防止を目的に行いました。</p> <p>《内容》出入り自由なサロン形式で、手芸コーナー、麻雀コーナー、囲碁・将棋コーナーを設けお好きなコーナーでお過ごしいただきました。</p>	毎月第4水曜 (年間12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
色えんぴつ 絵画 教室	<p>《目的》高齢者の趣味の啓発、仲間作りを目的に行いました。</p> <p>《内容》色えんぴつを使った絵画教室です。講師が作成した下地に色鉛筆で彩色をしました。</p>	毎月第2・4日曜 (年間22回)

平成27年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	《目的》男性の社会参加の場の提供、仲間作りを目的としました。 《内容》男性向けの料理教室で、自宅でも再度調理できるようなメニューをとりあげました。	毎月第2, 4月曜 (年間20回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みのさわペタンク広場	《目的》高齢者の仲間作り、閉じこもり予防を目的に行いました。 《内容》さわやかスポーツ普及委員を講師に迎えての室内ペタンク。参加者の人数によりチームを編成し、ゲーム形式をとりました。	毎月第2月曜 (年間9回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティヨガ	《目的》妊娠時の不安を解消し、安心して出産を迎えられること、また、産後の育児も気軽に相談できる仲間作りを目的としました。 《内容》妊娠15週以上の妊婦対象として、助産師によるヨガと相談を行いました。また、産後赤ちゃんを連れて再度参加いただき、出産時や産後の様子をお話いただくことで、参加者の出産準備、心構えにつなげました。	毎月1回 (年12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボラたま	《目的》ケアプラザで実施する余暇活動支援事業のボランティア発掘と、こどもたちの地域のサポーターを増やすことを目的に行いました。 《内容》障がい児者啓発ネットわしよいを講師に迎え、体験プログラムやロールプレイを通して障がい児の関わり方を学びました。	7月5日(土)

平成27年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ホップ・ステップ	《目的》長期休暇中の障害児余暇活動支援とレスパイとケア。また、地域住民の障害理解と啓発を目的として、交流を図りました。 《内容》室内プログラムと（工作：ライト作り、お正月あそび等）昼食、おやつを提供しました。	8月3日 月6日 1

事業名	目的・内容	実施時期・回数
色えんぴつ絵画体験	《目的》夏休み中の小学生活動の場の提供と講師である高齢者との交流の場としました。 《内容》講師がはがき（暑中見舞い2枚）に下地を描いたところに、色鉛筆で彩色しました。	7月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
箕沢ケアプラザ祭り	《目的》登録ボランティア、保健福祉団体、地域住民の交流の場としました。イベントとして行うふれあいコンサートでは地域住民の障害理解、啓発を目的としました。 《内容》登録ボランティアや保健福祉団体の模擬店販売、福祉用具の展示、ふれあいコンサートを実施しました。	年1回 11月14日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉保健計画	《目的》第2期地域福祉保健計画・地区別計画【深めよう地域のつながり】の推進と、第3期地域福祉保健計画策定を目的に、活動しました。 《内容》ふれあい祭りにて地域住民の意見収集をしました。またイベントカレンダーを作成し、全戸配布を行いました。	不定期

平成27年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サンドパンを作ろう	<p>《目的》衛生面での啓発（手洗いの方法・必要性）、栄養面でのアドバイスを管理栄養士が行うことで、子どもたちからの栄養の重要性を感じてもらおうということを目的に行いました。</p> <p>《内容》神奈川県総合パン協会・神奈川県栄養士会との共催事業で、パンはパン協会から支給され、中にはさむ具を栄養士で調理、レシピの紹介を行いました。</p>	12月2日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
読み聞かせとわらべうた	<p>《目的》横浜市民の読書活動の推進に関する条例が制定され、子どもが日々の生活の中で、読書を身近に感じられるよう、中区保育園との共催事業として行いました。</p> <p>《内容》乳幼児対象に、わらべうたと読み聞かせ、本の紹介を行いました。プログラムの後に、保育士の育児相談を行いました。</p>	11月20日（金）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館登録団体説明会	<p>《目的》団体で貸室を利用するための注意点を、再度確認してもらい、ケアプラザの機能を知ってもらうために行いました。</p> <p>《内容》ケアプラザ機能説明、利用上の注意、避難経路等ご説明させて頂きました。</p>	3月6日（日） 3月15日（木） 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
車椅子体験	<p>《目的》障がい理解を深めるために行いました。</p> <p>《内容》近隣の小学校にて、小学生を対象に、車いすの使い方や、視覚障害者の日用品の紹介を行いました。</p>	2月23日（火）

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
みのさわ子育て応援団	乳幼児と保護者	41,405	41,405		16,705		24,700
	645名						
	なし						
簗沢やまゆり書道会	高齢者	0					
	72名						
	なし						
簗沢サロン	高齢者	67,744		23,200			
	379名						
	手芸のみ100円						
色えんぴつ絵画教室	高齢者	41,405	41,405		41,405		
	311名						
	なし						
八起会	高齢者	1,234	1,234				1,234
	名						
	なし						
男の料理教室	高齢者	60,362		61,800		60362	
	112名						
	500円						
みのさわペタンク広場	高齢者	0					
	69名						
	なし						
マタニティヨガ	15週以上の妊婦	66,816		66,816	66,816		
	50名						
	なし						
ホップステップ	障害児	37,613	25,653	11,960	3,341	33,152	1,120
	52名						
	500円						
色えんぴつ絵画体験	小中学生	2,659	2,659		2,659		
	8名						
	はがき代100円						
簗沢ケアプラザ祭り	地域	121,573	121,573			121,573	
	100名						
	なし						
地域福祉保健計画	地域	13,630	13,630				13,630
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。